

高等学校令和6年度（3学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1～6組：中島）

使用教科書：（高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 価値・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な知識と、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に取り組もうとする実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 人の一生と食事 【知識及び技能】 ・食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など、食と人との関わりについて理解できる。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、健康や環境に配慮した食生活について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に食生活を営むことができるよう健康及び環境に配慮した自己と家族の食事、日本の食文化の継承・創造について考察し、工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食文化を継承し、自分や家庭、地域の食生活の充実に取り組むために実践する。	【指導事項】 ・食と人との関わり ・健康及び環境に配慮した自己と家族の食事 ・食生活を取り巻く課題 ・食の安全と衛生 ・日本と世界の食文化 ・日本の食文化の継承・創造 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・食と人との関わりについて理解することができたか。 【思考・判断・表現】 ・健康及び環境に配慮した自己と家族の食事、日本の食文化の継承・創造について考察し、工夫することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食文化を継承し、自分や家庭、地域の食生活の充実に取り組もうとする実践的な態度が見られるか。	○	○	○	14
	B 栄養と食品 【知識及び技能】 ・栄養の特徴、食品の栄養的特質について理解する。	【指導事項】 ・栄養の特徴 ・食品の栄養的特質 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・栄養の特徴、食品の栄養的特質について理解することができたか。	○			8
	C 調理実習①和風献立 【知識及び技能】 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、和風献立の調理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・安全で衛生的に調理が行えるように調理計画を工夫する。 ・おいしく食べられるように配膳を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・理解したことを調理の中で生かし、実践する。	【指導事項】 ・おいしさの構成要素 ・食品の調理上の性質 ・目的に応じた調理に必要な技能 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート ・食材や調理器具	【知識・技能】 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、和風献立の調理に必要な技能を身に付けることができたか。 【思考・判断・表現】 ・安全で衛生的に調理が行えるように調理計画を工夫することができたか。 ・おいしく食べられるように配膳を工夫することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・理解したことを調理の中で生かし、実践することができたか。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	D 食生活の安全 【知識及び技能】 ・食生活を安全で衛生的に営むために、食品の腐敗や変敗、食中毒、食品添加物などについて食品の購入、調理、保存と関わらせて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康、安全及び環境などの視点から食生活に関わる情報を適切に判断し、考察し、工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食生活を安全で衛生的に営むために、自分の食生活の問題を見だし、主体的な課題解決に向けて考えることができる。	【指導事項】 ・食品の選択と保存 ・食品の安全と衛生 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・食品の腐敗や変敗、食中毒、食品添加物などについて理解することができたか。 【思考・判断・表現】 ・健康、安全及び環境などの視点から食生活に関わる情報を適切に判断し、考察し、工夫することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の食生活の問題を見だし、主体的な課題解決に向けて考えることができたか。	○	○	○	5
	E 調理実習②洋風献立 【知識及び技能】 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、洋風献立の調理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・安全で衛生的に調理が行えるように調理計画を工夫する。 ・おいしく食べられるように配膳を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・理解したことを調理の中で生かし、実践する。	【指導事項】 ・おいしさの構成要素 ・食品の調理上の性質 ・目的に応じた調理に必要な技能 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート ・食材や調理器具	【知識・技能】 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、洋風献立の調理に必要な技能を身に付けることができたか。 【思考・判断・表現】 ・安全で衛生的に調理が行えるように調理計画を工夫することができたか。 ・おいしく食べられるように配膳を工夫することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・理解したことを調理の中で生かし、実践することができたか。	○	○	○	4

2 学 期	F 食生活をデザインする 【知識及び技能】 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養バランスについて理解するとともに、自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康に配慮したよりよい食生活を工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己と家族の食生活の計画・管理を実践する意欲を高める。	【指導事項】 ・食事摂取基準と食品群 ・ライフステージの特徴や課題 ・献立作成  【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・栄養バランスについて理解し、自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けることができたか。 【思考・判断・表現】 ・健康に配慮したよりよい食生活を工夫できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己と家族の食生活の計画・管理を実践しようとする姿勢が見られるか。	○	○	○	10
	G 調理実習③中華風献立 【知識及び技能】 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、中国風献立の調理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・安全で衛生的に調理が行えるように調理計画を工夫する。 ・おいしく食べられるように配膳を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・理解したことを調理の中で生かし、実践する。	【指導事項】 ・おいしさの構成要素 ・食品の調理上の性質 ・目的に応じた調理に必要な技能  【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート ・食材や調理器具	【知識・技能】 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、中国風献立の調理に必要な技能を身に付けることができたか。 【思考・判断・表現】 ・安全で衛生的に調理が行えるように調理計画を工夫することができたか。 ・おいしく食べられるように配膳を工夫することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・理解したことを調理の中で生かし、実践することができたか。	○	○	○	4
	H 人の一生と住まい 【知識及び技能】 ・住生活を取り巻く課題、日本と世界の住文化など、住まいと人との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・平面計画やインテリア計画を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本と世界の住文化、日本の住文化の継承・創造について関心を持ち、伝統文化に蓄積された知恵や経験を自己の住生活で実践しようとする意欲を持つ。	【指導事項】 ・住まいの役割と間取り ・平面図の活用 ・住まいのインテリア ・生涯を見通した住まいの工夫  【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・住生活を取り巻く課題、日本と世界の住文化など、住まいと人との関わりについて理解することができたか。 【思考・判断・表現】 ・平面計画やインテリア計画を工夫することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・住文化に関心を持ち、自己の住生活で実践しようとする姿勢が見られるか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	I 住生活の計画と選択 【知識及び技能】 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、住生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解し、快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できる。 ・住居の計画、防災などの安全や環境に配慮した住生活とまちづくり、日本の住文化の継承・創造について考察し、工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・安全で環境に配慮した住生活について関心を持ち、学んだことを自己の住生活で実践しようとする意欲を持つ。	【指導事項】 ・快適で健康な住まい ・安全で安心な住まい ・持続可能な住まい ・住まいと地域社会のかかわり  【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、住生活の計画・管理に必要な技能を身に付けることができたか。 【思考・判断・表現】 ・持続可能な住居の計画について理解し、快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できたか。 ・住居の計画、防災などの安全や環境に配慮した住生活とまちづくり、日本の住文化の継承・創造について考察し、工夫できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・安全で環境に配慮した住生活について関心を持ち、学んだことを自己の住生活で実践しようとする姿勢が見られるか。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計
							70